

令和6年度地域住民座談会実施報告

1 実施概要

「地域住民座談会～地域住民への地域福祉総合計画・地域福祉活動
計画概要説明および地域住民による意見交換会～」

2 実施日、開催場所、参加人数等

	開催日時	開催場所	参加人数	委員
1	10/2（水） 14～16時	小曾木市民センター第1・ 2会議室	12名	山下会長 江成委員
2	10/7（月） 14～16時	梅郷市民センター第1・2 会議室	9名	杉田副会長 宮口委員
3	10/16（水） 14～16時	S&D たまぐーセンター A・B会議室	21名	杉田副会長 林委員 栗原委員
4	10/24（木） 14～16時	長淵市民センター会議室第 1・2会議室	15名	山下会長 三ツ木委員 平原委員
5	10/28（月） 14～16時	今井市民センター会議室	17名	山下会長 本橋委員 鳥居塚委員
		合 計	74名	

3 実施スケジュール

	時間	項目	担当	備考
	10:00	会場設営	地域福祉課・社協	
	11:00	会場設営終了	〃	
	13:00	会場入り		
	13:30	開場・受付・案内	全員	
1	14:00	開会あいさつ	地域福祉課長	
2	14:03	司会あいさつ	コーディネーター	以後進行

	時間	項目	担当	備考
3	14:06	地域福祉総合計画	地域福祉課・介護保険課・高齢者支援課・障がい者福祉課	
4	14:16	地域福祉活動計画	社協	
5	14:26	質疑応答	全員	
6	14:36	意見交換会・説明	CSW	
7	14:40	自己紹介・進行役/発表者選出・意見交換会		
		①「地域の自慢できるところを見つけよう」		
		②「地域の絆を強くする方法～計画の中からできるところから始めよう～」		
	15:25	休憩		
8	15:35	グループ発表		
9	15:45	総評	会長・副会長	
10	15:50	閉会・あいさつ	委員	
	15:55	アンケート記載		
	16:00	解散・片付け		

4 地域住民座談会での主なご意見等

意見交換会や参加者へのアンケートにおける主なご意見等は以下のとおり。

- ・地域の交流も含め、世代の違う人たちの色々な意見を聞きたい。
- ・お互いに話すことで地域の良い点を再認識でき、また高齢化に進んでいく中でネガティブなイメージではなく別の視点を発見できた。
- ・若者を交えた意見交換会をしたい。
- ・普段関われない年代の方々と楽しく話げできたことで、今まで知らなかったこともたくさん知ることができた。
- ・笑い話の中にも切実な悩みごとがある場合もあるので、もっと気軽に話せる場や人が増えたら良いと感じた。
- ・皆と意見交換することで、自分のやりたいことやできること、すべきことが明確になったので、どんどん動いていきたい。

- ・これからどう変わっていくのか、自分も関わりながら地域を作っていきたいと思った。
- ・小・中学生、高校生の地域貢献活動推進において、成人式での多世代交流や地域福祉大学など、もっと範囲を拡げ、充実させていくべきだ。
- ・循環バス・グリーンスローモビリティを充実させることで買い物難民等を減らしたい。
- ・交通手段の問題を改善していくことが、豊かな暮らしにつながるのではないかと思う。
- ・移動販売車で市内のどこでも誰でも日常の買い物ができるようになるとすばらしいと思う。
- ・自治会館をもっと使いやすくし、皆んなの居場所づくりとなるようにしていきたい。
- ・時代の変化に対応すべく、自治会に拘らず、情報を共有してこれらを担う若者中心の地域づくりができるようにしていくことも必要ではないか。
- ・若者からスマートフォンの使い方などを教えてもらうことで、多世代交流を促すとともに高齢者でも情報難民とならないようにするのはどうか。
- ・多世代がお互いに見守り見守られる仕組みづくりをしていきたい。こども食堂ならぬ「誰でも食堂」といった、誰でも受け入れられる場所づくりや地域サロン・世代間交流の場を広げていきたい。
- ・「ごちゃまぜ社会」の実現に向けて、具体的に動き続けられるように身の回りの方々と協力していきたい。
- ・感謝の心を忘れず些細なことでも相手に伝えていくことが、年齢・性別の区別なく互いに協力し合える社会を目指す第一歩になると感じた。
- ・自然豊かな青梅で、人間以外の生き物・森・山・農地なども視野に入れた地域福祉が実現するといいなと思う。